

眞理出版社　叢書　叢書入、郷土叢書。昭和十九年六月福井先生死、昭和十九年一月廿一日印成（一九〇一三日）。號松齋全集、詩集、畫集、著述集。大

正九年中學校卒業後稅務署に奉職し、経なく坂井郡雄鶴小學校助教となる。十二年新福井日報社記者、のち新経知新聞社（現）に典入、市立福井圖書館の同書とばつた。これより裏記新経知代に福井圖書研究會を創立、十日付雜誌『未頃』から始めて、福井圖書研究會の発刊書籍に於ける、著述集の執筆刊行。

その後『橋躋賀文書集成』（永井環共編、昭和十九年八月廿一日付書簡中）

がある。